



小林 □さん (19歳・広ケ野)

秋田工業高等専門学校4年、柔道部所属・同部主将。昨年11月に行われた「全国高専柔道大会」では、男子個人戦81kg級で準優勝に輝く。トランペット演奏が趣味。

巧みな試合運びで 目指すは全国大会優勝

秋田工業高等専門学校柔道部の主将を務める小林さん。高専生の日本一を決める昨年11月の「全国高専柔道大会」では、個人戦81kg級で準優勝に輝いたほか、同9月の「JOC ジュニアオリンピックカップ」では秋田県代表の控え選手として選出されるなど、リーダーシップと実力で部をけん引します。

その小林さんの強さを支えるのは落ち着いた試合運びで、「例えば、相手が自分より格上で投げることができないと感じたら無理して投げに行かず、ひたすら技を繰り返して相手が疲れるのを待つ。そして、延長戦に入って相手が苦しくなったところを最後の最後に投げ技で仕留め

る」と話すように、どの試合でも冷静に戦況を見極め、勝つための最善策を考えながら実行します。その点こそが強みであり「自分の柔道」と自信を持ちます。

一方で、「相手との相性だったり、運があったりとなつのが本当に難しい」と話しながらも、「だからこそ、自分の柔道をできた時がとても爽やかな気分になる」と、対人競技である柔道の難しさや厳しさの中に魅力を感じています。

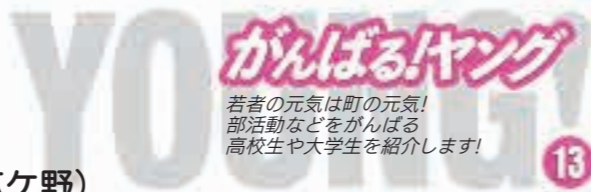
その「自分の柔道」をどの試合でも発揮するため、日々の練習では柔道で大切な「心・技・体」を意識し、課題点や強化点を自身で考えながら、筋力トレーニングや技の反復練習などに励みます。

小林さんは、「今年が最終学年を

迎えるので、準優勝で終わった全国大会の個人戦で優勝し、リベンジを果たしたいという思いが強い反面、今は自分の柔道に迷いがある。だからこそ1から見つめ直せるチャンスと捉え、筋力を向上させるための体づくりや技の反復を徹底し、もう一度「誰にも負けない」という心を取り戻す」と、さらなるレベルアップや、最後の1年へ懸ける思いを話しました。



昨年11月の「全国高専柔道大会」での試合に臨む小林さん(左)。磨き上げた自身の柔道で、堂々の準優勝を果たしました。



税についての作文 受賞作品の紹介

今月号では、「令和3年度中学生の税についての作文コンクール」で五城目町納税貯蓄組合会長賞を受賞した畠山凌太郎さん(五城目第一中学校3年)の作品をご紹介します。

五城目町納税貯蓄組合連合会
会長賞受賞作品

私たちの生活と税金

五城目第一中学校3年
畠山凌太郎さん(築地町)

お店で買い物をする時、食品は8パーセント、それ以外は10パーセントが消費税として商品に加算された金額を支払います。自動車を持っていけば自動車税、会社から給料をもらっていけば所得税など日本にはたくさん種類の税金があります。

いろいろな調べてみると、私たちが受けている教育にも税金が使われていることが分かりました。学校の建設や義務教育に必要な物(机や椅子、黒板、パソコン、実験道具など)、安心して学べる環境を整えるために使われていました。こうして私たちが毎日の勉学に励むことができるのも税金のおかげだということを感じました。

次に医療費です。私が住んでいる五城目町では高校生まで医療費が無料になる福祉医療制度があります。私はアレルギーがあり、病院に通っているため診察料や薬代を負担してくれるのはとても助かります。具合が悪い時も我慢せずに病院に行くことができるのはとてもいいことだと思います。

また、日常生活に欠かせない道路や橋などを整備し、生活を豊かにしています。道路や橋などはたくさんある車の往来により、日に日に傷んでいきます。税金がなければ、修理されずに壊れたまま放置されてしまうかもしれません。秋田県は雪国です。

冬期間は道路の除雪作業も必要になります。雪が道路に積もったままになってしまうと、車は立ち往生してしまいます。安全な走行が出来なければ、道路は大渋滞になってしまいかもかもしれません。

警察や消防、ごみ処理費用にも税金が関わっていることも分かりました。私たちがいつも安心して暮らすことができるように、犯罪の防止や交通安全、火災や災害、救急車の出動などの活動にも使われています。また、家や会社などからのごみは適切に処理を続けなければ、町は汚れてしまいます。ごみの回収や処理にもたくさん税金が使われています。

税金は私たちの身近にたくさん使われていることが分かりました。税金がなければ安心して安全な生活を送ることができません。税金が普段気ない私たちの生活を支えてくれたことに驚きました。税金の使われ方がよく考えてほしいと思います。



地域の方々や企業が受験生を応援! 五城目一中で合格祈願の会

1月21日、この春受験に挑む3年生を激励しようと、五城目第一中学校で「合格祈願の会」が行われました。会では、参加した地域の方々や企業がそれぞれ合格祈願の品を用意。伊藤萬治郎さん(85歳・新畑町)はせんべいと鉢巻きを、八木下真全さん(53歳・築地町)は2種類のお守り、(株)あったか五城目は鉛筆をそれぞれ生徒に贈りました。3年生は、皆さんからの激励に応え、全員が一丸となって受験に挑むことを誓いました。



合格を祈願し、地域の方々から応援の品を生徒へ手渡しました。

新年のお参り

I hope you all had a wonderful New Year. This year I saw in the New Year in Oga at Dairyuji Temple with a few friends where we were able to ring the bell. This was definitely a unique experience for me as back in Australia we would normally watch a countdown on TV or a fireworks display with friends and family while wishing each other a Happy New Year. Take care and until next time.

オーストラリアでは、いつもテレビでカウントダウンの番組を見たり、友人や家族と花火をしながら新年を祝っていたので、今回は少し変わった体験をすることができました。みなさん、健康にお身をつけてお過ごしください。ではまた来月お会いしましょう。



友人たちと男鹿市の大龍寺で新年を迎えました。

みなさんは楽しいお正月を過ごせたでしょうか。私は、友人たちと一緒に男鹿市の大龍寺へ行き、みんなで鐘を鳴らしてきました。

ケリーの ごじょうめ 奮闘記



Kelly Joan Morgon
ケリー・ジョアン・モルゴン

2020年12月に町の英語指導助手(ALT)に着任しました。出身地は、オーストラリアのノーザンテリトリー州のハンプティドゥーという町です。得意なスポーツはネットボール/よろしくお願ひします(≥▽≤*)